

課題研究論文

「地域スポーツ研究の現状と課題」

地域スポーツコースの特集にあたって

地域コースは、Sport For All（みんなのスポーツ）をめざす地域スポーツ指導員の要となる人材を育成するためのスポーツ教育コースである。今回の特集では、4つの研究を紹介する。

1は、「スポーツ・ボランティアを経験することの意味は」（豊田則成・金森雅夫）で、スポーツボランティア参加体験の内面的変化の質的分析を通じて自己変容と凡化の過程を検討する。2は、「ヘルスプロモーションと生涯スポーツ教育体系の課題」（金森雅夫）で、健康運動指導士養成のカリキュラムの分析をつうじて基礎となるコアカリキュラムについて検討する。3は、「スポーツによる地域の再領域化の可能性—現状とその問題点」（海老島均）で、グローバル社会における地域の再定義付けから総合型スポーツセンターに代表される地域スポーツの現状とその問題点を検討する。4は、「長期スポーツ実施者における継続要因に関する事例研究」（佐藤馨）で、ダンス教室参加者を対象に継続要因を検討する。

これらは、地域スポーツが掲げるSport For All（みんなのスポーツ）という共通の目標に向かっての促進要因・阻害要因の洞察であり、21世紀のスポーツ教育の課題の情報発信である。また、若輩新規大学4年の成果であり、共に汗をかいた学生との共有産物でもある。21世紀のスポーツ教育の今後を展望する上で読者が何らかのインパクトを得ていただければ幸いです。（2007年3月16日）

金 森 雅 夫